

つながりの中でくらす
望まれた人として生きる
自分らしく生きていく



No. 53

2017年7月発行

2017年度事業計画

1. 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業（放課後等デイサービス）

昨年度3月の大阪市の実地指導による運営上の改善を進め、より充実した支援を行います。定期的な支援計画の見直しとケース会議を継続して支援内容と職員の質の向上をはかっていきます。「こどもからはじめる個人将来計画」による計画作成や実践を継続し、それぞれの子どもに対して関係機関とのネットワークを構築していきます。「自立生活プログラムこども版」を用いて「食」をテーマにしたプログラムを実施したり、仕事体験のイベントをしたりして、子どもたちの社会生活体験を広げます。また、地域の方々やボランティアの協力を得て、障害児に対する地域の理解がすすむよう活動をしていきます。

2. 障害児者の自立に向けた支援事業

地域住民や学生ボランティアの協力を得ながら、定期的にイベントを開催します。昨年度同様、サマーキャンプ（宿泊研修）を実施します。浴衣を着たり地域行事に参加したりして、体験の幅を広げ地域の方々と交流する活動を行います。また、障害をもつ子どもの家族を対象に相談活動を行います。

旭区地域自立支援協議会に参画して、地域の障害者福祉の推進を担います。同協議会こども部会においては、区役所、障害者相談支援事業所や学校などと連携して就学進学相談の活動や保護者向けセミナーに取り組むなど、障害児の地域生活支援を行います。

3. 子育て支援事業

「旭区子育て安心ネットワーク」、「あさひの輪」などの子育て支援関係の定例会に参加して情報交換を行ったり、子育て支援イベント「子育てわいわい広場 in ASAHI」や旭区社会福祉協議会主催の「子育てトーク」の開催などに協力したりして、区内の子育て支援体制の充実と虐待防止に向けて活動します。

4. 生涯学習講座等の企画・運営支援事業

講座の企画運営や研修会の講師を行います。

5. まちづくりの推進に関する企画及び研究事業

地域活動協議会に参加し、地域住民と連携をして地域活動に取り組みます。



放課後等デイサービス「楽童ほうふ」報告

4月は、初旬に近くの運河沿いの遊歩道に桜を見に行きました。帰りに公園に寄り、遊具で遊んだり、ボール遊びをしたりしました。新年度が始まって、子どもたちはそれぞれ新しい学年や学校に進み、中高校生は新しい制服を着て急に大人びて見えます。期待も不安もたくさんあった進学でしたが、みんないいスタートができたようです。下旬には、ほうふの菜園にトマト、キュウリ、ナス、シソなどを植えました。



5月は、鶴見緑地公園に遠足に行きました。写真をご覧ください。6月のカフェほうふに向けてクッキー作りを練習しました。おまけでメロンパンも作りました。

6月、ほうふの庭は紫陽花やランタナがきれいに咲きました。カフェほうふを開催して、仕事体験と地域交流をしました。詳しくは次ページで報告します。ナスやミニトマトやシソを収穫し、土曜日のクッキングでお味噌汁の具にしたり、スパゲティに入れたり、ピザに乗せたりしました。菜園の野菜を使った夏のクッキングが楽しみです。

5、6月にエルムおおさかの出前研修や訪問支援を受け職員の質の向上をはかりました。7月からは「自立生活プログラムこども版」で「食」をテーマとした取り組みをします。夏休みはいろんな活動を計画しています。次号をお楽しみに。



遠足 鶴見緑地公園

日時：2017年5月20日（土）10時～17時

参加者：子ども 9名、学生ボランティア 8名

暑い一日でしたが、みんなよく歩き、公園の木陰やせせらぎで遊んだり、芝生でサッカーをしたりして遊びました。バラ園を見に行き、アイスクリームで一息ついて帰りました。

<ボランティアの感想から>

- ・ほうふの活動は今日が初めてだったので、緊張していましたが、ペアだった A 君がなついてくれたし、他の子ともいっしょにあそべたので楽しかったです。久々に長い距離を歩いたのでつかれました。
- ・今回は、初めての活動ということで、少し緊張しており、何をしてあげたらいいのか分からなかったのですが、先輩方やスタッフさんの接し方などを学んでいきたいと思います。Bちゃんに対してテンパリすぎたので次からは少し落ちついて接したいです。Cちゃんはフレンドリーに接してくれて仲良くなれたと思うので、良かったです。





カフェほうふ

日 時：2017年6月10日（土）14時～15時半

参加者：子ども 12名、学生ボランティア 5名

昨年に続き、しごと体験と地域交流を目的として、カフェほうふを開店しました。今年は、喫茶に加えて、体験コーナーを作りました。さをり織体験、革刻印製品作り体験、そして、スライム作りコーナーを作ることで、お客さんとの交流が深められるようにしました。ご近所の女性会の方々や、親子連れ、ほうふの子どもたちのご家族など、たくさんの方々が来てくださり、子どもたちは接客やお客さんとの交流を楽しんでいました。短い時間でしたが、貴重な体験をすることができました。

来年は、各コーナーに看板を作ってわかりやすくしたいと思います。また、喫茶の練習が足りなかったり、子どもにいろんな体験をしてもらおうとコーナー担当のローテーションをするようにしたのですが、お客さんが絶え間なく来られて、交代がスムーズにいかなかったりしたので、次回に向けて準備したいと思います。また、お客さんの感想メッセージをいただくようにしていきたいと思います。

みなさん、本当にありがとうございました。来年もよろしくお願ひします。

<ボランティアの感想から>

- ・今日はカフェほうふでした。子ども達が地域の方々や、親子さん達と楽しそうに接客や話をしていて良かったです。地域の方々や親子さんにはほうふの子ども達はとても愛されているんだなと思いました。
- ・カフェほうふでは、クッキーのかざりつけをしました。みんな恥ずかしがっていたのですが、忙しくなってくるとそれどころではなくなったのか、すごく楽しそうに協力し合って取り組んでいて、僕も楽しく活動できました。
- ・朝、来てすぐにキャッチボールとサッカーをしたので明日筋肉痛確定です。カフェが始まってからは、ジュースを注ぐ仕事をしました。毎度のことですが、地域の人たちがけっこうな人数来られてすごいなと思いました。



七夕に、子どもたちが短冊に願ひごとを書いて笹につけました。短冊を読んで、幸せな気持ちになります。ささやかな願ひ、大きな夢、子どもたちが短冊に書いた思いを大切にしたいと思います。能力主義社会にどっぷりと浸かってしまった大人の感覚を反省し、子どもと一緒に夢を語りあいたいと思います。「できる・できない」にとらわれず、子ども達が語る夢をあたたく受けとめ見守れる大人でありたいと思います。

